
ENTER 系列名リスト ;

機能 :

ENTER は対話型のセッションの最中に、端末からデータを入力するときに使います。データが入力されると、観測値の入力が要求されます。機能的には、LOAD コマンドと同じ働きをします。

使用法:

ENTER には、少なくとも一つの引数が必要です。変数の入力の仕方と保存法は、直近で指定された SMPL と FREQ によって決まります。データの入力要求に対しては、いくつデータを入力しても構いません。次の入力要求はそれに応じて調整されます。入力要求は現在の SMPL が満足されれば終わり、その系列は保存されます。もし複数の系列を入力する場合は、それらを順に入力することが要求されます (一系列の入力が終わった後で次の系列の入力が始まります)。

もしデータ入力の数値を誤った場合は、どの観測値を誤って入力したか記録しておいて入力を最後まで行なってください。つぎに UPDATE コマンドを使えば入力エラーを修正することができます。もし数値以外の入力で誤りがあった場合は、最初に戻って入力の修正を行なうことが要求されます。欠損値は SMPL を不連続にするか (入力要求は自動的に調整される)、あるいは欠損値のコードである”・”を用いて保存されます。

例:

```
1? FREQ A
2? SMPL 1946,1975
3? ENTER GNP
Enter data for GNP
1946? 475.7 468.3 487.7 490.7
1950? 533.5 576.5 598.5 621.8 613.7
1955? 654.8 668.8 680.9 679.5 720.4 736.8 755.3
1962? 799.1 830.7 874.4 925.9 981.0 1007.1
1968? 1051.8 1078.8 1075.3 1107.5 1171.1
1973? 1233.4 1210.7 1186.4
GNP has been stored with 30 observations
```